

北区立八幡山子どもセンター 令和5年度 事業報告書

設置者： 北 区
運営事業者：社会福祉法人 東京聖労院

目次

第1章 八幡山子どもセンターの概要

- 1、基本理念および運営方針 1
- 2、職員組織機構 2
- 3、開館日時 2

第2章 八幡山子どもセンター事業報告

- 1、乳幼児年齢別活動 3
- 2、定例活動 3
- 3、年間行事計画に基づく行事 4
- 4、その他行事 5
- 5、北区子育て応援隊事業・親育ちサポート事業 6
- 6、子育て相談活動 7
- 7、地域連携・交流行事 7
- 8、その他
 - 1) 広聴活動 7
 - 2) 苦情対応 8
 - 3) 広報活動 8
 - 4) 施設開放 8
 - 5) ボランティア活動 8
 - 6) 防災訓練 9

第3章 資料

- 令和5年度八幡山子どもセンター入館状況 10

第1章

八幡山子どもセンターの概要

1. 基本理念及び運営方針

◎基本理念

東京聖労院は、「四恩報謝」(天地、父母、国、衆生の恩に報い、感謝するところ)の教えに根本を置いた「聖労」(報いを求めない聖き労働)を実践し、「地域とともに育つ」ことを常に忘れず、社会福祉の目的の実現をめざします。

法人の存在意義	東京聖労院は、「その時代時代の社会福祉課題」に「無私無欲」「先駆性」「開拓性」の精神で果敢に取り組み、その成果を以って公の利益に資するものとして存在します。
児童福祉事業の基本原則	児童は、「保護の対象」ではなく「権利行使の主体」であり、児童の生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を擁護し、児童にとっての最善の利益を考え、健やかな成長を実現するために、親、地域、行政、関係機関等と連携、協力して児童福祉事業の運営に取り組みます。 北区の児童館の歴史、子どもセンターの基本方針・事業計画等を十分に理解し、地域の方々、団体等と真摯に向き合い信頼関係を構築しながら、児童館事業の運営に取り組みます。

◎運営方針と目標

「児童と親と地域が望む 健全育成の未来を拓く いのち輝く子どもセンター」

＜乳幼児親子の居場所となり、子育てにかかわるすべての人を支援します＞

- ① 妊娠期からスタートする「親育ち子育て」中のだれもが安心して過ごし交流できる居場所となるよう努めます。
- ② 親子の仲間作り、子育てに関する情報提供・相談機能をより一層充実させます。
- ③ 乳幼児親子一人ひとりと向き合い、様々な問題の早期発見と対応に取り組みます。

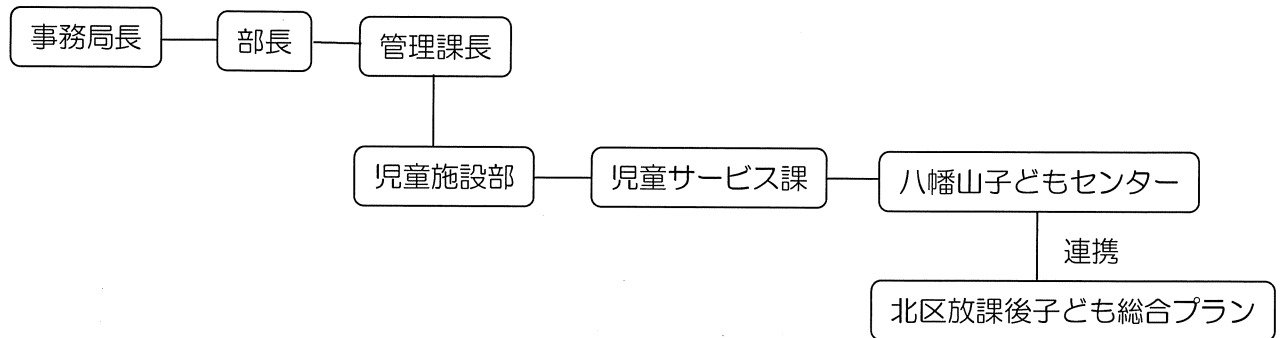
＜十条の子育てネットワークの基地局として、地域と連携しながら機能を充実させていきます＞

- ① 地域や近隣施設と連携し、祭りやイベントを通じて子育て支援ネットワークを強化します。
- ② 子どもと家庭を見守る地域づくりを進め、特別な配慮が必要な児童、家庭を支援します。
- ③ 放課後子ども総合プラン、中高生活動と連携し、適切な居場所としての役割を果たします。

＜子育てを楽しめる魅力のある活動を行います＞

- ① 来てよかった、また来たいと思われるような日常活動を行うよう工夫します。
- ② 季節の行事や日本の伝統の紹介などを取り入れ、幼児や若い保護者にも文化を伝承していくよう努めます。
- ③ 小中学生はジュニアボランティアとして活躍することで、乳幼児の保護者に我が子の成長した姿をイメージしやすくなるよう、また乳幼児にとっては憧れのお兄さんお姉さんとなるよう育成していきます。

2. 職員組織機構



3. 開館日時

東京都北区立八幡山子どもセンターの管理に関する仕様書に基づき、開館日時等について次のとおり行う。

開館時間（児童館） 午前9時30分から午後5時30分

開館曜日 月曜日から土曜日

（ただし、年末年始の12月29日～31日、並びに1月1日～3日は休館とする。）

休館日 日曜、国民の祝日に関する法律に定める休日

第2章

八幡山子どもセンター事業報告

1.乳幼児年齢別活動

乳幼児の活動は年齢別グループ活動を基本とし、発達段階に沿った内容（工作、読み聞かせ、運動遊びなど）を行った。プレイルーム全面を使ってのびのびと活動することができた。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
4月～通年 (33回)	おまめたいむ ホップ	子どもの発達段階に応じて、2クラブのどれかに参加できる。年度途中での変更も可能。	457人	ねんね・ごろごろ・はいはい時期の子どもとその保護者
4月～通年 (31回)	おまめたいむ ステップ	手遊び、ふれあい遊び、ベビーマッサージ、保護者同士の話し合い、運動遊び、工作、読み聞かせなど。	105人	よちよち時期の子どもとその保護者
4月～通年 (37回)	おまめたいむ ジャンプ (登録制)	手遊び、ふれあい遊び、保護者同士の話し合い、運動遊び、工作、読み聞かせなど。	601人	R3.4/2～R4.4/1 生まれの幼児親子
4月～通年 (38回)	うさぎクラブ (登録制)	手遊び、ふれあい遊び、運動遊び、工作、読み聞かせなど。	427人	R2.4/2～R3.4/1 生まれの幼児親子
4月～通年 (37回)	ぱんだクラブ (登録制)	手遊び、音楽遊び、運動遊び、外遊び、工作、読み聞かせなど。	130人	H31.4.2～R2.4.1 生まれの幼児親子

2.定例活動

運動あそびに特化したプログラム、音楽あそびに特化したプログラム、異年齢交流にもつながるプログラムなどを実施したことで、クラブ活動以外でも顔の繋がる交流のきっかけを作り出すことができた。自分より小さい子に寛容に接する子も多く、成長を保護者と一緒に共有した。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
4月～通年 (12回)	身体計測 DAY	身体計測、足形スタンプを行った。	70人	乳幼児とその保護者
5月～通年 (22回)	はちまん DAY	音楽遊びや、次月のカレンダー作りや読み聞かせなどを異年齢の子どもを対象に実施。	163人	乳幼児とその保護者
4月～通年 (46回)	きりんタイム	工作を中心に実施した。ゲームも行った。季節の行事にちなんだ工作も取り入れた。	269人	3～5歳児とその保護者
4月～通年 (25回)	はちZAP	月ごとにテーマを決めた運動プログラムを行った。	156人	3～5歳児とその保護者
4月～通年 (24回)	リトミック	講師を招き、幼稚園や保育園降園後に参加できるプログラム。	177人	3～5歳児とその保護者
4月～通年 25回	つなげよう！ プラレール！！	プレイルームにて広く線路をつなげて遊ぶ。月2回のペースで実施する。保育園帰りの乳幼児も参加出来る様に16時から行った。父親の参加が多かった。	441人	乳幼児とその保護者

4月～通年 25回	はしらせよう！ ミニカー！！	プレイルームにコースを設置し、ミニカーで遊んだ。父親も含めた家族連れの参加が多かった。	471人	乳幼児と その保護者
11月4日 1月13日 3月9日	⑧ミニカー& プラレール！	好評の企画を合体して11月から実施。一緒に遊べるコースを新たに購入した。この企画をきっかけに毎月のミニカーとプラレールに参加し始めた親子もいる。	133人	乳幼児と その保護者
4月～ 月1回程度 11回	全力！ カプラタイム！	カプラで作品を作ったり、崩す時の音を楽しんだりした。8月には、王子第三小学校の学童クラブの子がボランティアとして一緒に参加し、乳幼児と一緒に遊んだあと、小学生による読み聞かせも行った。また、長期休みはスペシャルとして小学生のプレイルーム入出も可とした。	163人	主に乳幼児と その保護者

3.年間行事計画に基づく行事

運動会や館まつりなど、子どもたちの成長を感じる機会、親子同士や友達同士の思い出作りの機会、異年齢の子どもたちの交流の場となるべく行事を実施した。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
6月12日～ 6月24日 11月6日～ 11月18日	フードドライブ	食品ロスを減らす啓発活動 今年度は2回実施。集まったものは社会福祉協議会に寄付した。	寄付 294品	利用者 地域住民
7月27日	ハッピーフェスタ ★2023	昨年度よりも規模を拡大して実施。小中学生ボランティアの受け入れや施設開放団体の協力があり、世代間交流の機会にもなった。	236人	乳幼児と その保護者
10月25日	はちまんやま ハロウィン 運動会	清水坂公園にてハロウィンをテーマにした競技を実施した。	61人	乳幼児と その保護者
1月11・12・ 15～17日	もちつきごっこ	各年齢別活動等で分散し、スライムを用いてもちつき遊びを行った。	79人	乳幼児と その保護者
3月23日	はちまんやま 動物村	晴天時は清水坂公園での開催予定だったが、雨天のため、定員を設け入れ替え制でプレイルームにて小動物とのふれあいを行った。	109人	乳幼児と その家族

4.その他行事

季節の行事、プレママプレパパ向けの企画、地域の方やいろいろな方を講師に招いた行事等、多彩な行事を企画し実施した。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
通年 (13回)	ヨガ☆タイム	幼児とその保護者対象に、講師を呼びヨガを行った。講師は元利用者。	53人	幼児とその保護者
5月10日 5月24日 10月11日 11月8日	⑨田んぼ体験	北区自然ふれあい情報館共催行事。ふれあい情報館の田んぼを使用し年間を通して親子一緒に田植え、稲刈りなどの体験を行った。	114人	年中・年長児とその保護者
6月23日	園長先生に聞いてみよう!	じゅうじょうなかはら幼稚園の園長先生に幼稚園の様子やそのころの発達の講話をいただき、保護者からの質問・相談を受けていただいた。	11人	公立・私立幼稚園への入園を検討している保護者
6月26日 12月11日 3月25日	ベビー リトミック	講師を迎えて、音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして親子でふれあいを楽しんだ。	83人	0歳児親子 (首すわり完了~)
7月10・ 18日・24 9月6・13日	水遊び	ベランダで定員を設け入れ替え制で水遊びを実施した。	50人	7月→0~1歳児とその保護者 9月→0~5歳児とその保護者
7月27日~ 8月10日	打ち水大作戦!	「東京都打ち水大作戦」に参加した。雨水やすすぎ水などを使い、センター前の道や駐輪場に打ち水をした。	26人	施設利用者
8月7日	伝統工芸出張体験 講座「陶芸」	北区産業振興課の伝統工芸出張体験講座。親子で陶芸に挑戦した。	25人	3~5歳児とその保護者
8月8日・ 30日	はちまんやま ウォーター パーク	ベランダ・工作室にて水をテーマにしたミニゲームを行った。雨天時は図書室・工作室で実施した。	34人	2~5歳児とその保護者
8月21日 11月13日	ベビーマッサージ &ふれあい遊び	講師を迎えて、親子でマッサージやふれあい遊びを楽しんだ。	32人	0歳児親子
8月23日	保育園の先生に 聞いてみよう!	清水坂つぼみ保育園の園長先生たち2名に来ていただき、保護者の不安や質問に答えていただいた。	12人	保育園入園を検討している保護者
8月29日	Fun! math! Time!	サイコロと数のカードを通して算数的思考を体験した。	25人	3~5歳児とその保護者
8月31日 12月14日	たんぽぽ おたのしみ シアター	東京家政大学児童音楽研究会「たんぽぽ」に公演をしていただき、親子でパネルシアターなどを楽しんだ。	62人	0~5歳児とその保護者
10月2日 1月22日 3月16日	ようこそ! プレママ・プレパパ おさがり おゆずり会	子を迎える前に0歳児幼児クラブを体験したり、プレママ・プレパパ同士で情報交換したりする機会を設けた。また、利用者から募ったおさがりで、繋がりを感じられるようおゆずり会を実施した。	12人	これから子どもを迎える予定の保護者

10月2日 1月22日	おさがり交換会	乳幼児クラブ内にプレママ・プレパパを迎えて、おさがりを交換しながら、交流する機会を設けた。	56人	0歳児親子
10月23日 3月2日	おしえて 保育園ママ	保育園入園に向けて、先輩ママを迎えての交流会を行った。今年度は、入園申請と入園前準備のテーマで2回に分けて実施した。	42名	保育園入園を 考えている 保護者
11月22日	水道キャラバン	東京都水道局の出前講座。水道の仕組みや災害時給水ステーションなどを学んだ。	9人	0～5歳児とその 保護者
12月22日 2月2日 3月15日	①英語で 楽しむ	地域で教室を営んでいる方が講師を務めてくださり、歌やお話を通して、英語の音に親しんだ。	117人	初回は2～5歳児 以降は0～5歳児
1月20日	江戸囃子太鼓 による獅子舞	事前申込制で定員を設けて実施。お囃子や獅子舞といった伝統芸能にふれた。	62人	乳幼児と その保護者
2月14日	春をよぶ マジックショー	地域のマジシャンの方にショーの公演をしていただき、親子で楽しんだ。多くの方が参加できるよう午後に開催し入れ替え制とした。	68人	乳幼児と その保護者
3月15日	ぬいぐるみのおとまり会	子どもたちの大切なぬいぐるみを預かり、一泊させる。後日センターでぬいぐるみが遊んでいる写真をとり記念アルバムとして渡した。	16人	2歳児以上と その保護者

5.北区子育て応援団事業・親育ちサポート事業

北区の子育て事業・子育てサポート事業・親育ちサポート事業として、以下の活動を行った。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
隔月の土曜日	みんなでお祝い 輝きバースデー	1歳のお祝いをし、計測を行った。北区からの記念品の受付窓口となった。	87人 (受付件数 31件)	満1歳になった 幼児と保護者等
①4月5日～ ②9月20日～ 毎週水曜日 全4回	0ママほっと タイム	北区で今年度から始まった予防型プログラム。赤ちゃんとの過ごし方など、母親同士で話し子育てのヒントを得たり、仲間づくりにつなげる。	①申込人数 が最小催行 人数に一人 届かず中止 ②26人	おおむね生後 6か月の子ども を持つ母親
9月15日 11月21日	幼稚園入園に 向けての交流会	幼稚園入園を控えた保護者の先輩ママを迎えての交流会。	26人	1、2、3歳児の 保護者
11月～12月 毎週水曜日 全6回	ノーバディーズ パーフェクト プログラム	カナダの親支援プログラム。申し込み人数が実施可能最少人数に一人届かず今年では行えなかった。	中止	0～6歳の 子を持つ保護者

6.子育て相談活動

実施日	活動	内容	参加人数	対象
月2回	子育て応援隊による相談	子育て中の悩みについて、子育て応援隊（地域の民生・児童委員）が寄り添う活動。	多数	乳幼児とその保護者
月1回	心理相談員による相談	専門相談員による心理相談。別室での個別相談も対応。	22件	乳幼児・児童とその保護者
月1回	はぴママひよこ面接	出産・子育て期にわたって安心して子育てができるよう切れ目のない支援を目指した出産・子育て応援事業を実施した。	92人	乳幼児とその保護者
7月～ 毎日実施	新子どもなんでも窓口	7月から始まった区の相談事業。子どもや保護者からの相談をなんでも受け付ける。保護者129名、児童7名。保護者は子どもの発達にまつわることや子育て情報について、児童は人間関係が多かった。	173件 (内児童9件)	全ての来館者

7.地域連携・交流行事

実施日	活動	内容	参加人数	対象
10月7日 8日	ふるさと北区区民まつり	区民まつりにて「立体もぐらたたき」を地域の皆さんと一緒に運営した。	多数	区民
11月19日	フォトアドベンチャーラリー	北区青少年十条地区委員会のフォトアドベンチャーラリーの児童館コーナーを担当。ボールを点数盤の上で転がして合計点を競うゲームを実施した。	多数	小学生とその家族
9月25日 10月31日	児童館ネットワーク事業 Mama-MAP ピクニック	Mama-mapに載っている公園で地域の顔見知りを増やすことを目的に、シャボン玉やネイチャーゲームなどを行った。保護者委員中心にフォトスポットも設置した。	44人 (八幡山受付分)	乳幼児とその保護者
12月2日	児童館ネットワーク事業 あったか～い輪・十条わいわいフェスタ	民生児童委員、利用児童保護者が主体のイベント。今年度は4年ぶりに十条富士見中学校体育館で実施。乳幼児親子と中学生の触れ合う機会にもなった。	313人	乳幼児とその保護者

8.その他の活動

1) 広聴活動

「利用者満足度調査」を実施した際、自由記述で出ていた意見や要望から環境整備を行い貸し出しおもちゃなど日常活動に反映させた。

「年齢別活動ふり返り」で年間を通しての活動の感想や要望についてアンケートをとり、次年度のプログラムに反映させるべく職員間で検討した。

こういった広聴活動以上に、日常的に利用者と多くのコミュニケーションをとることに重きを置き、センターに対する利用者のニーズ等を把握するよう努めた。

2月26日 29日 3月1日・5日	年齢別活動 ふり返り	各クラブ・フリークラスで一年を振り返り、センターへの要望をアンケート形式で集約した。	41人	保護者
-------------------------	---------------	--	-----	-----

2) 苦情対応

利用者からの苦情の申出に対しては毎月の「苦情対応委員会」に報告すると共に、法人全体で2回施設オンブズマンによる公正中立な立場からの改善勧告、指導を受けることとしている。今年度も要望や問い合わせ程度のものにとどまり、大きな苦情はなかった。

3) 広報活動

1. はちまんやま子どもセンターだより

毎月発行しているおたよりでその月の企画や行事を掲載している。運営委員メンバーをはじめ、学校、幼稚園、町会、地域の民生・児童委員の方等への配布を行っている。

2. ホームページ

北区ホームページの八幡山子どもセンターのサイトには施設の概要や行事の情報、毎月のおたよりなどを載せている。施設を利用したことのない人や遠方でなかなか来館できない人まで幅広い対象に子どもセンターをアピールしている。

3. 元気です

社会福祉法人東京聖労院の広報誌、年3回の発行。八幡山子どもセンターの活動の様子などを載せている。

4) 施設開放

地域に開かれた子どもセンター、子どもセンターの地域貢献をめざし、月曜日～土曜日の午後6時から9時、および日曜・祝日の午前9時から午後5時まで、施設開放を行っている。利用できるのは近隣地域住民のサークルなどで、事前に申請が必要である。今年度の登録は3団体。延べ1,115人の利用があった。

5) ボランティア活動

ボランティアの受け入れは、職員間で共通理解を図りながら随時行っている。地域の民生・児童委員による“子育て応援隊”は幼児クラブだけではなく、行事の際にもご協力いただいていた。

また、館まつりの際には施設開放登録団体の有志や元子育て応援隊の方などにボランティアスタッフとして協力していただいているほか、地域の自然ふれあい情報館からもコーナー出店をもらった。ボランティアとしての人数には入れていないが、小学生や中学生もお店スタッフとして活躍してくれた。

実施日	活動	内容	受入数
通年	ボランティアによる企画及び行事協力	行事受付、館まつり従事、お人形衣装づくり、身体測定補助など	79人

6) 防災訓練

利用者の安全を守るため、また、利用者の防災意識の向上、啓発につながるよう防災計画をたて、訓練を行っている。

実施日	活動	内容	参加人数
各月1回 (9月11月を除く)	避難訓練	毎月の地震や災害を想定した避難訓練のほか、消火器使用方法、通報訓練など多岐にわたって実施する予定を立て、実施した。	89人
9月5日	不審者対応訓練	職員を対象に、不審者来館時の実際の対応訓練し、その後さすまたの使い方等の実技講習を受けた。	職員9人
11月11日	起震車体験	北区防災課職員による防災普及の推進と起震車体験。	68人

第3章

資料

令和5年度 八幡山子どもセンター 利用状況

	乳幼児	保護者	小学生 1～3年	小学生 4～6年	中学生	高校生	合計
4月	419	372	21	22	0	0	834
5月	416	368	32	21	11	0	848
6月	414	370	49	19	20	0	872
7月	592	560	106	31	7	4	1,300
8月	492	415	85	23	3	0	1,018
9月	510	483	74	41	0	0	1,108
10月	506	454	58	39	0	0	1,057
11月	565	473	62	63	0	0	1,163
12月	640	562	55	34	25	0	1,316
1月	600	510	26	16	0	0	1,152
2月	473	399	32	27	0	0	931
3月	784	666	14	15	7	0	1,486
合計	6,411	5,632	614	351	73	4	13,085